

地域支援だより



スマイルサポート



No. 7 平成31年2月18日発行

今年度、大館地区で行われた高等学校の特別支援教育に関する校内研修会の内容をキーワードで紹介いたします。講話・演習は本校の教諭（兼）教育専門監 畠山佳子が担当しました。

大館鳳鳴高等学校 特別支援教育研修会【9／28（金）】

●講話：「自閉症スペクトラムの理解と高校における評価について」

- ・だれにとっても住みやすい社会へ（基礎的環境整備、合理的配慮）
- ・生徒の捉え方
 - …自閉症スペクトラム（孤立型、受動型、積極型、四角四面型）、ADHD（多動性・衝動性、注意欠陥）、かん黙（選択性かん黙、場面かん黙）等の発達障害の理解と支援のポイント
- ・安心・安全な学校・学級に（学級づくりのポイント、周囲の子どもの理解推進、肯定的な注目を与える、効果的な指示の出し方など）
- ・場面かん黙の生徒の実技の評価について（代替手段の検討）

●演習：個別の指導計画と個別の支援計画の書き方（保護者との合意形成）

教科ごとのグループに分かれ、対象生徒の情報を共有し共通理解を図った。次に実際に、個別の指導計画や個別の支援計画の作成に取り組みながら、日頃感じていることやかん黙の生徒の評価をどのようにしていくかという点について時間をかけて話し合った。対象生徒が障がいによって不利益とならないように、評価に関しても配慮して行う方向で話し合った。

大館桂桜高等学校 特別支援教育研修会

●11／7（水）講話「発達障がいの理解と支援～子どもの困難さをサポートするチーム対応～」

- ・ステップ1～特別支援教育について「共生社会の実現を目指して」
- ・ステップ2～障がい特性について理解しよう
 - ・発達障害の理解と対応のポイント「ASD、ADHD、LD」
 - ・学習スタイルの把握～視覚型、聴覚型、体得型
 - ・同時処理と継次処理
- ・ステップ3～実態把握の方法
 - ・客観的データ（SENチェックリスト、知能検査）、障害特性や発達段階、行動観察、情報収集、ケース検討会
- ・ステップ4～障がい特性に応じたチーム支援
 - ・ユニバーサルデザインの授業づくり、記憶のピラミッド、肯定的な注目を与える
- ・ステップ5～保護者対応「まずは感謝とねぎらいの言葉を」、「説明責任、実行責任、結果責任」

●1／10（木）講話・演習「ティーチーズ・トレーニング」

- ・ステップ1～行動を三つに分ける「好ましい行動・好ましくない行動・許しがたい行動」
 - ・ステップ2～肯定的な注目を与える。「好ましい行動に気付いたら伝える。」
 - ・ステップ3～教育的無視の仕方「無視は、好ましい行動を待つためにする。」
 - ・ステップ4～効果的な指示の出し方「近づいて、穏やかに、落ち着いた声で」
 - ・ステップ5～制限の与え方 罰の前に「警告」を。「罰」のターゲット行動を決める。
- 感想より「具体例が多く、分かりやすかった。特定の生徒に限らず全ての生徒に対応できることだと、改めて勉強になりました。ぜひ、実践してみたい。」